

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年11月1日】第101号



木の香り

10月22日(金)には1年1組が、29日(金)には1年2組が、東京農業大学森林総合科学科大林宏也教授に木工の授業をしていただきました。様々な木についてのお話の後、スギやヒノキ、さらに合板の木片に触れて香りや手触りを確かめました。年輪などの模様も興味深いものです。さらに、好きな絵をかいてキーホルダーにしたり、ボンドで接着して卓上プレートを作ったりしました。1年生を対象とした大林先生の授業は今年で3年目。今でも、自作のキーホルダーを大切にしている上級生が少なくありません。11月には2年生対象の授業もお願いしています。楽しみです

ね。



森林総合科学科森林資源利用学分野 木材工学研究室

<https://www.nodai.ac.jp/academics/reg/for/lab/1005/>

忘れ物しちゃった！ さて どうする？

本校では、子どもの忘れ物に気づいた保護者が届けに来られても、残念ながらそれを受け取らない方針です。稀ですが正門までいらっしゃる保護者もおられて大変に心苦しいのですが、そのような時にも学校の方針を、ご理解いただいています。子どもたちにはまず、忘れ物をしないようにきちんと準備をする習慣をつけてほしいからです。「学年だより」などでお知らせする「持ち物」について、保護者にもご確認いただく必要があります。それでも忘れ物をしてしまった時、それは子どもにとって学びの機会ともいえるのではないのでしょうか。次から忘れないという決心をする機会が、子どもにとっても必要だからです。忘れ物をした友だちを助ける親切な心を育てることも、大切だと考えています。もちろん、授業に差し支えないように教員は十分に配慮してい

ます。学校に忘れ物をして下校してしまった場合も同様です。サブバッグ、水筒、宿題の教材など忘れ物は様々で、気候によっては制服のジャケットを忘れて帰る子どももいますが、教室に戻ることはできません。保護者の皆様には、学校の方針について引き続きのご理解をお願いします。

コマツナの収穫

26日(火)、3年生はコマツナを収穫しました。農大稲花小の畑で育てた品種は、城南コマツナ。城南、すなわち世田谷区、目黒区、大田区などの地域で明治時代中期から地元の農家により栽培されてきた品種だそうです。現在、野菜の多くがF1品種(一代雑種)となっていますが、城南コマツナは遺伝的特性が親から子に伝えられてきた固定種です。畑では農家による収穫や出荷についての説明も受けた子どもたち、たくさんのコマツナを持ち帰りました。

家庭学習に期待

11月1日(月)からの最初の週、2022年度入学試験のため農大稲花小は休校となり、子どもたちは家庭学習の課題に取り組みます。通学がないので落ち着いて、今までの復習をするよい機会です。とくに、習熟を必要とする漢字や計算などの力を確実なものにしてもらいたいと考えています。また、新型コロナウイルス感染防止の観点から控えている鍵盤ハーモニカやリコーダーについては、動画を配信し、家庭で練習することにしています。家庭学習に励んだ子どもたちが11月8日(月)にそろって登校するのを楽しみに待っています。

今週は入学試験

事前面接に続き、11月1日(月)からは入学試験が始まります。農大稲花小でも、適正な入学試験が行われるよう29日(金)午後までにはすべての準備を整えました。昨年と同様、新型コロナウイルス感染防止の措置として、不織布かそれと同等以上のマスク着用、アルコールティッシュの持参、健康状況調査票の提出に加え、校舎内に入る前の検温・手指消毒など志願者と保護者の皆様のご協力をお願いすることになります。志願者の誰もが、普段からの実力を発揮できることを願っています。

校長 夏秋 啓子